

# フィリピンの防災力を高めるために

～JICA「フィリピン国 防災に関わる多様な関係者の能力向上」研修～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

フィリピン国の防災関係者が、独立行政法人 国際協力機構(JICA)が行っている研修の一環として、六甲砂防事務所を来訪されました。

六甲山地での土砂災害の歴史と砂防事業の取り組みなどの説明を行い、土石流実験を見ていただきました。

## 概要

日時：平成26年5月28日(水)

9:00～11:30

場所：六甲砂防事務所

主催：JICA 参加人数：17名



## ○六甲山地での砂防事業の取り組みについて紹介

明治時代にはげ山だった六甲山地の土砂災害を防止する目的で行われてきた植樹について、「花こう岩の性質を考えると、難しかったのではないのでしょうか?」という質問がありました。風化した花こう岩は保水力が弱く、また急な斜面に植樹しても育ちにくいため簡単ではありません。そのため、斜面に階段状の平たい部分を人の手で造り保水力を高め、肥料となる樹種や生命力の強い樹種など 20 種類ほどを選んで植えてきたことを説明しました。



また、「フィリピンではスリット式の砂防えん堤を多く造っていますが、六甲山地ではどうですか?」という質問もありました。近年整備している砂防えん堤で使用していること

や、効果を大きくするために、地形や流れ出てくる土砂の大きさなどの現地の条件に合わせて砂防えん堤の形状を変えていることを説明しました。

## 【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
TEL：078-851-0535

